

平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： マスタープラン： 3つの挑戦 / 施策番号 7-1 . . . 局・課名： 総務局・総務サービス課

事業名	総務事務センター運営事務	事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額	
			269,562	243,396	207,210	
事業概要	【目的】	債務負担行為	期間	要求額(千円)		
	本事業の目的は、職員の庶務・労務関連事務など、市民サービスに直接関係しない事務(内部管理事務)を効率化することで、職員の可処分時間(マンパワー)を創出させ、限られた人的資源の最適配分に寄与することにある。	～				
		主要要求内容		(単位:千円)		
	【内容】	項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等	
	H21.10に設置された総務事務センターは、当初、出退勤、給与関係を中心とした事務から集約業務を開始し、H25.4からの第2期以降も、教委関係事務・光熱水費支払事務など、その対象業務を順次拡大してきた。さらにH27.10から開始された第3期においても、H29年度から、新たに認定こども園関係業務を受け入れるなど、今後も関係部署と協力しながら、これまで集約化された事務を「効率的遂行」と「確実かつ安定稼働」の点から円滑に執行していく。	総務事務センター運営委託料(3期)	126,995	124,800		
		職員情報システム運用保守委託料	42,123	54,574		
	【センター運営上の基本取組み】	事務所賃貸料	8,675	8,675		
	①事務処理の簡素化・集中化(作業手順最適化、センター集中化) ②事務処理の可視化・標準化(マニュアル整備・庁内HPの充実) ③事務処理のアウトソーシング化(センター運営の民間委託) ④事務処理のIT化(職員情報システムの開発・活用)	機器借上料等	13,265	11,973	OTR機器等	
		ライセンス更新料等	8	186	ウイルスソフト、地図ソフト	
	【今年度要求のポイント】	事務所共益費	1,560	1,560		
総務事務センター稼働後8年が経過し、事務処理の効率化を進めてきたが、より正確で効率的な稼働を目的として、SE対応による業務改善、システム改修を行う。	その他	50,770	5,442			
	合計	243,396	207,210			
スケジュール(経過及び今後展開)						
【経過(～29年度)】		【30年度】		【今後予定(31年度～)】		
H27.10 第3期業務稼働		・事業の継続実施 ・府費負担教職員権限移譲業務の対応検討		・事業の継続実施		
その他 特記事項						
みんなの審査会対象外						